

令和3年度第5回佐久市社会教育委員会議

1 開会

2 あいさつ

中澤功委員長

3 会議事項

(1) 「居場所」に関する現状把握について

- ・今後の活動方針について
- ・ワークシートについて

事務局

前回の会議で、社会教育委員会としての活動テーマが「居場所について考える」に決まりました。地域の中には、様々な居場所づくりを行っている学校・NPO・団体等があり、まずはその現状を把握し、課題を調査する必要があります。そこで、今後は以下の流れで進めていきたいと考えています。

○ステップ1 現状把握

佐久にはどのような「居場所づくり」を行っている団体があるのか、そのジャンルや数、対象者や運営形態等の現状を把握する

○ステップ2 課題・必要なものの調査

それぞれの「居場所」がどのような課題を抱え、どのようなもの（人材・場所・機会・物資・資金 etc.）を必要としているのか調査する

○ステップ3 「社会教育委員会としてできること」を考える

現状と課題を把握したうえで、社会教育委員会として具体的に何ができるのか、どんな取り組みが有効なのかを考える

今後はグループに分かれ、各々関心のある居場所についての情報収集を行い、それぞれの情報収集の結果を会議にて報告していただき、全体での情報共有を図ります。以下の佐久市社会教育委員会議計画案に沿って進めていければと考えています。

- 5月に開催する予定の次回の会議までは、まず個人で活動する計画を立て、その計画に沿ってご自身で情報収集を行っていただく。

○5月の会議で実施予定の内容

- ・個人での情報収集の成果を報告し、グループ内で情報共有
- ・今後どのように情報収集するか話し合い、グループの活動計画を立てる
- ・活動計画をグループごとに発表し、全体で共有

○7月までグループごとに情報収集を行っていただく。

○7月の会議で実施予定の内容

- ・グループでの情報収集の成果を報告し、全体で情報共有
- ・他グループからアドバイスや意見をもらい活動をフィードバック
- ・ステップ2 課題の調査へ

それぞれの「居場所」で抱えている課題や必要としているものを調査する計画を立てる

また、グループ分けについては、12月の会議での様子から「コミュニティ・スクール」「子育て支援」「多世代交流」に関わる居場所の3グループに分類できると考えておりますが、この他に興味のある、または取り組むべきだと思う「居場所」の種類やジャンルがあれば挙げてください。

委員長

今後の活動方針について、ご意見やご質問はありますか。

委員

ステップ2 課題の調査については、必要な物資や運営状況などについて、かなり踏み込んだ質問をすることになると思いますが、居場所づくりをしている団体に取材やヒアリングをするということが良いですか。

事務局

ヒアリング調査やアンケート調査を想定していますが、調査の方法についてはグループで話し合い決めていただきます。

委員

調査や見学に行く時期は3月でも問題ありませんか。また、見学先に突然電話しても大丈夫ですか。

事務局

3月でも問題ありません。また、見学先の方と面識がない場合は、一度事務局にご相談いただき、事務局から相手方に説明いたします。

委員長

事務局より「コミュニティ・スクール」「子育て支援」「多世代交流」の3つのグループが提案されていますが、この他に興味のある、または取り組むべきだと思う「居場所」のグループがあれば提案してください。

委員

普段、学校に携わっているので、コミュニティ・スクールグループに所属しようと思うのですが、子育て支援に関わる団体への取材はコミュニティ・スクールグループに所属していても行って良いですか。

事務局

絶対的にこのグループの分類であり、他のグループには関わっていないという居場所はありませんので、行っていただいて良いと考えます。

委員長

では、3つのグループの中から、委員の皆さんで調べてみたいと思うグループを選択してもらいます。希望するグループに挙手していただきます。

（「コミュニティ・スクール」グループ希望3名挙手、
「子育て支援」グループ希望4名挙手、
「多世代交流」グループ希望3名挙手）

事務局

欠席委員の希望グループは事務局より確認し後日ご報告します。

委員長

続いて、ワークシートについて事務局から説明をお願いします。

事務局

それぞれの居場所に関して「何について・どうやって」情報収集するのかワークシートに記入し、計画に沿って次回の会議までに情報収集を行ってください。また、様々な居場所について調べる中で、社会教育委員会としてどんなことができるか、最終的な目的を考えながら情報収集を行ってください。

委員長

ワークシートについて、ご意見やご質問があれば挙げてください。

副委員長

3 グループに分かれましたが、今後は完全にグループで活動していくのですか。あるいは、最終的には3つの居場所のうちから1つに対象を絞り活動するのですか。

事務局

まずは、広く現状を把握するために3グループに分かれていただきましたが、調べを進めるうちに、社会教育委員会議としてできる具体的な取り組みが見えてきた際に、それがグループで取り組むべきものなのか、社会教育委員会議全体で取り組むべきものなのか、全体で話し合い検討したいと考えます。

副委員長

5月までは、完全に個人で情報収集するのでしょうか。あるいは、グループのメンバーで集まり情報収集を行っても良いのでしょうか。

事務局

5月の会議までは基本個人で情報収集を行っていただきたいと考えます。

副委員長

多世代交流に関する居場所づくりをしている団体について、具体的にどなたに聞き取りすれば良いですか。

事務局

事前にお送りした資料に、多世代交流に関わる活動をしている団体を掲載しておりますのでご参照いただき、施設や団体等の見学場所については個別に事務局にご相談ください。

委員長

他にご質問等ありますか。

委員

コロナ渦で、取材やヒアリングに対面で行けるのかどうか、個人で判断しづらいと思うのですか、事務局としての指針はありますか。

事務局

5月までは、基本的に対面は避けた方が良いと思われま。感染状況が落ち着き、

対面での取材に行けそうと思われる場合は、事務局へご相談ください。

副委員長

御代田町や軽井沢町など近隣市町村で活動している団体も調査対象ですか。

事務局

近隣市町村で活動されている団体の事業にも、佐久市民の方が参加する場合もあると考えられますので、調査対象として考えて良いと思います。

委員

7月には情報収集の成果を報告しなければならないとすると、5月の段階ではある程度の情報量を持ち寄らないといけないと思うので、かなり厳しいスケジュールだと思います。

事務局

調査対象を一つの団体にしぼり、踏み込んで調べ、成果を報告するというよりも、今ある居場所について広く知り、情報量を増やしていただき、「グループで調査する際にどの団体をさらに詳しく調べようか」という話し合いができる材料を、まずは集めていただきたいと思います。

(2) 次回の社会教育委員会議の日程調整について

委員長

次回の社会教育委員会議の日程調整について、事務局より説明をお願いします。

事務局

次回の社会教育委員会議は、令和4年5月12日(木)午後で開催したいと考えております。本日欠席されている委員のご予定も確認した後、開催通知をお送りします。

(3) その他

委員長

土日に緊急で連絡をとる際やグループ活動を進める際に必要になると思いますので、社会教育委員同士で、電話番号やメールアドレス等の連絡先を共有してはどうでしょうか。

委員

電話やメールのみでなく、LINEでもグループを作成するのはいかがですか。

事務局

では、事務局から調査票をお送りいたしますので、電話番号、メールアドレス、LINEのうち共有可能なもののみ調査票にご記入いただき、事務局で一覧を作成し共有いたします。

4 閉会